

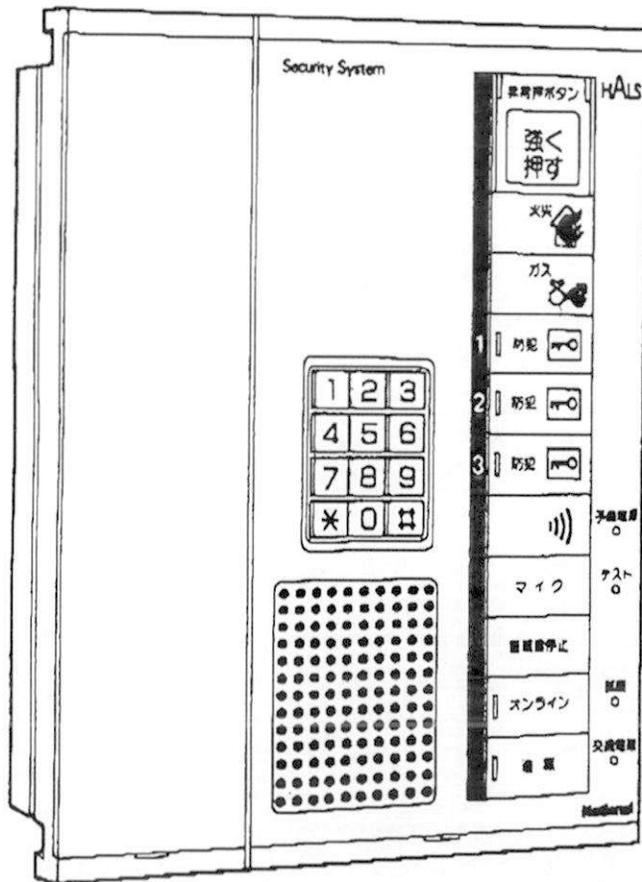
ホームセキュリティシステム 家庭用自動通報機

品番 VJ-555
取扱説明書

保証書別添

このたびは、家庭用自動通報機 VJ-555をお買い求めいただき、まことにありがとうございました。

- この説明書と添付の保証書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
そのあと、大切に保存し、わからないときは再読してください。
- 保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入を確かめて、販売店からお受け取りください。



上手に使うって上手に節電

自動通報の設定

音声による自動通報を行う場合は、下記手順にしたがい設定を行ってください。(自動通報をおこなわず、家庭用セキュリティ装置としてのみ使用する場合は、不要です。また株式会社パナセキリオンと契約した場合の設定は、契約の際にご相談ください)

設定項目

No.	設定項目	ケタ数	設定番号
1	ダイヤル信号種別	2	DP…10または20、PB…30
2	暗証番号 (オンライン解除用)	4	数字のみ
3	通報モード	1	1 : 1カ所のみに通報 0 : 2カ所共に通報
4	第1通報先電話番号	16	数字※
5	第2通報先電話番号	16	数字※
6	通報メッセージ録音(IC録音)	15秒	

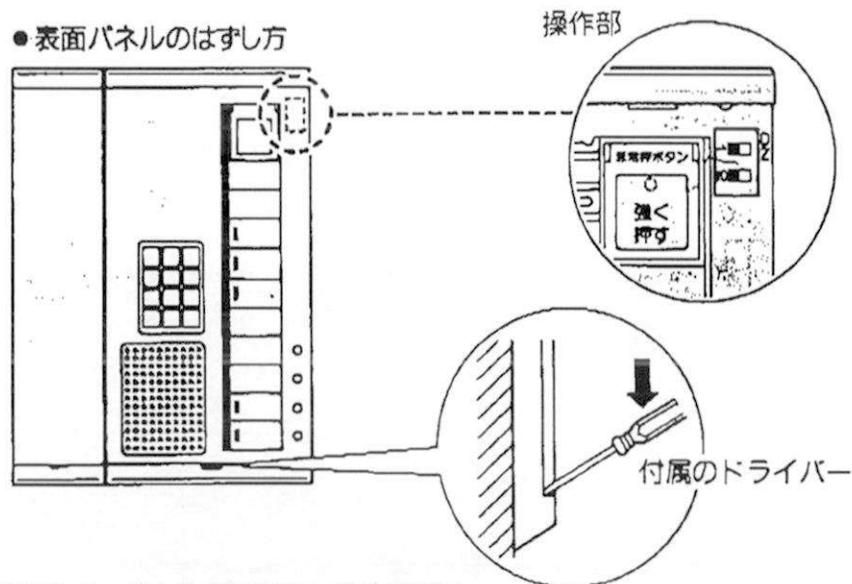
●設定に関しては、工事担当者にご相談ください。

110番、119番など警察、消防機関を通報先にすることは、行政上固く禁じられておりますので絶対に登録しないでください。

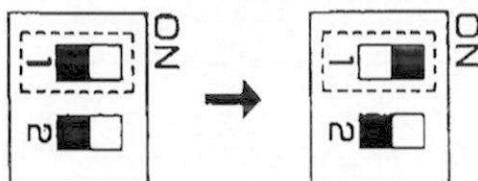
※橋内交換機等でポーズが必要な場合、ボタンを使用してください。ポーズ時間は3秒です。

設定前の準備

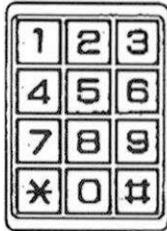
①表面パネルをはずしてください。右図のような操作部があります。



②操作部の設定/動作スイッチ1をON側にしてください。



設定方法 (ダイヤル信号種別追加設定)



以下の設定には本体の番号ボタン、**#**ボタン、*****ボタンを使用します。

操作 (操作例)

1 **#**ボタンを押します。
設定項目No.1の「ダイヤル信号種別」となり、スピーカーから「1」が音声で聞こえます。



2 お使いの電話回線の種類を設定します。

回線の種類	回転ダイヤル式	プッシュ式
ダイヤルスピード	10PPS	20PPS
設定番号	10	20

※加入している電話が回転ダイヤル式かプッシュ式かご確認ください。回転ダイヤル式で0をダイヤルしたとき、元に戻るまで約1秒かかる場合は「10PPS」、約0.5秒かかる場合は「20PPS」です。

ご注意

ホームバステレホンシステムに接続する場合で2回線収容のときは、電話回線の種類の設定は工事担当者にご相談ください。



(回転ダイヤル式20PPSの場合)

3 2の操作後、**#**ボタンを押します。
設定項目No.2の「暗証番号」となり、スピーカーから「2」が音声で聞こえます。必ず、この音声を聞いてから次の**4**の操作を行ってください。



4 防犯を通報するモードを解除するのに必要な4ケタの暗証番号を設定します。

(詳しくは22ページ)

右は暗証番号を1234に設定する場合の例です。



(次ページへ続く)

自動通報の設定

設定項目の操作例

(操作例)

5 4の操作後、**[#]**ボタンを押します。
設定項目No.3の「通報モード」となり、スピーカーから「3」が音声で聞こえます。必ず、この音声を聞いてから、次の6の操作を行ってください。

[#]

6 通報先を2カ所選定した場合に、2カ所共に通報するか、どちらか1カ所に通報できれば通報を終了するかの通報モードを設定します。

設定項目	2カ所共に通報	どちらか1カ所に通報
設定番号	0	1

[0][#]
(2カ所共に通報する場合)

7 6の操作後、**[#]**ボタンを押します。
設定項目No.4の「第1通報先電話番号」となり、スピーカーから「4」が音声で聞こえます。必ず、この音声を聞いてから、次の8の操作を行ってください。

[#]

8 第1通報先の電話番号を市外局番～市内局番～番号(最大16ケタ)の順に入れてください。
右は電話番号が123-456-7890の場合の例です。

ご注意

第1通報先の方とは、事前に通報内容を説明し、その対応方法等、充分話し合っておいてください。

[1][2][3][4][5][6]
[7][8][9][0][#]

9 8の操作後、**[#]**ボタンを押します。
設定項目No.5の「第2通報先電話番号」となり、スピーカーから「5」が音声で聞こえます。必ず、この音声を聞いてから8と同様に第2通報先の電話番号を入れてください。
右は電話番号が987-654-3210の場合の例です。

[9][8][7][6][5][4]
[3][2][1][0][#]

(次ページへ続く)

10 操作

10 9の操作後、**[#]** ボタンを押します。
 設定項目No.6の「通報メッセージ録音」となり、スピーカーから「6」が音声で聞こえます。必ず、この音声を聞いてから**[1]** ボタンを押してください。
 「ピー」音が聞こえ録音開始となりますので、本体マイクに向かって15秒以内で録音してください。

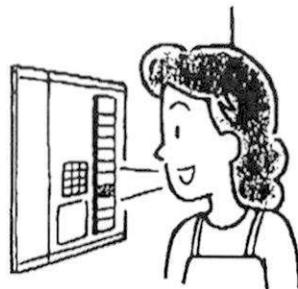
ご注意

すでに録音されている場合は、**[#]** ボタンを押した時に録音内容が再生されます。再生内容を聞いてから**[1]** ボタンを押してください。「ピー」音が鳴り、録音の更新が行えます。
 通報メッセージを録音するときは、本体マイクより約20～30cm離れて録音してください。

(操作例)

[#] [1]

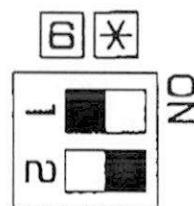
「こちらは、横浜市緑区佐江戸町600番地の松下通信工業です」



11 15秒経過した時点で、録音終了を告げる「ピー」音が鳴りますので、このピー音を聞いてから**[#]** ボタンを押します。15秒前に録音が終了した場合は、このピー音を聞く前に**[#]** ボタンを押してください。(これを行わないと、通報メッセージに空白の部分が出てしまいます。)

[#]

12 11の操作後、**[6] [✕]** を押します。
 録音した内容が再生されますので、内容確認後、操作部の設定/動作スイッチ1をOFF側(左)、スイッチ2をON側(右)にして、設定を完了です。



13 オンライン灯の消灯を確認します。
 ●設定が完了して、スイッチを動作側に戻したときに、オンライン灯が点滅している場合は、設定が不十分であることを示します。再度、設定方法の1にしたがって、はじめからやり直してください。

※12の操作を行うと、通報のテストを自動的にを行います。(復電情報を通報します。14ページ参照)